

令和5年度 新潟市白新コミュニティハウス事業報告書

団体名	鏡淵小学校区コミュニティ協議会
団体について	鏡淵小学校区内の自治会・町内会の住民と会の目的に賛同する団体等で組織・構成
施設の管理方法	事業計画書に沿って、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、適正な管理に努めた。
事業実施内容	・広報紙「かがみふちコミ協だより」の発行（年2回）
サービス向上に向けた取組	・定例理事会の開催 ・職員研修の実施 ・広報誌の発行によるPR
要望や苦情への対応	・意見箱の設置，利用者団体代表者懇談会の開催（年1回）により，利用者ニーズの把握に努めた。 ・要望や苦情に適切に対応するとともに，必要に応じて地域課へ報告した。
予算の範囲内での適正な執行	・収支計画書に基づく，計画的な執行を行った。 ・不要電灯の消灯や休館期間の清掃休止などによる管理的経費の削減を行った。
安全確保・災害時の対応	・施設内の定期的な巡回・点検により，事故防止に努めた。 ・危機発生時対応マニュアルにより，危機発生時の対応について確認を行った。 ・ひまわりクラブと合同で消防訓練を実施した。 ・R6. 1. 1 能登半島地震では当該施設が津波避難ビルではないことから避難誘導したほか，移動が困難な人のために施設を開放した。また，受け入れ後の清掃等も施設管理者として対応した。
地域貢献活動	・地域の茶の間に施設提供 ・コミ協と共催によるさわやか健康体操の開催 ・植栽による環境美化
従事者の雇用・労働条件	・管理人3名（常時1名勤務）2交代制 ・労働関係法令の遵守
個人情報保護の取り組み・関係法令の遵守	個人情報保護マニュアルに従い，個人情報を適正に取り扱うよう，業務従事者への徹底を図った。